

大学の授業は 予習・復習が前提!?

授業を受けて試験に合格すれば、規定の「単位」が取れます。1年を前・後期の半々に分けた期間のことを「半期」といいますが、半期の授業（15回）であればふつう、2単位が取れます。卒業に必要な単位は、124が基本で、これを満たさないと卒業できません。

ところで、1単位は「45時間の学修を必要とする内容」と定められています。つまり、半期で2単位の授業で単位を取るには、90時間の勉強が必要だということになります。

一方、1回の授業時間は90分で、授業回数は半期で15回ですから、授業だけでは22.5時間にしかなりません。実際は、90分の授業を2時間と見なすので30時間になりますが、それでも60時間が足りません。

実は、この60時間は自習時間なのです。大学生であれば、「自主的に学ぶのが当たり前」と見なされているのです。15回の授業で60時間の自習が必要なのですから、1回の授業につき、4時間の予習・復習が前提になっていることが分かります。

Column

CHECK! 問1の解答

(1) × (2) × (3) × (4) ○ (5) ○ (6) × (7) ○